



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月9日

上場取引所 名

上場会社名 名古屋電機工業株式会社
コード番号 6797 URL <http://www.nagoya-denki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 干場 敏明

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部副本部長 (氏名) 武藤 敏幸

四半期報告書提出予定日 平成23年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 052-443-1111

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	4,852	26.6	△1,150	—	△1,131	—	△1,143	—
23年3月期第2四半期	3,833	0.4	△963	—	△956	—	△962	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △1,174百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △1,020百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△189.82	—
23年3月期第2四半期	△159.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	12,884	8,375	65.0
23年3月期	15,412	9,580	62.2

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 8,375百万円 23年3月期 9,580百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,600	0.0	310	4.7	300	3.3	250	△26.1	41.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	6,032,000 株	23年3月期	6,032,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	5,776 株	23年3月期	5,776 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	6,026,224 株	23年3月期2Q	6,027,634 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの着実な復興が進むなか、原発事故による電力供給不足や放射能汚染問題、さらには米国および欧州の信用力低下に伴う円高の長期化などにより、景気の先行きは非常に不透明な状況で推移しました。

当社グループの主要事業であり、官需を主とする情報装置事業につきましては、公共投資が総じて低調に推移しており、受注は厳しい状況で推移しました。

また、民需を主とする検査装置事業につきましては、企業の設備投資は震災に伴う計画の先送りや中止などにより回復の動きは弱く、さらに顧客の新興国への生産シフト等が響き、受注と収益は厳しい状況で推移しました。

このような状況のなか、当社グループでは、開発・製造・販売一体で受注の確保に努めるとともに、顧客対応力およびコスト管理の強化等々構造改革に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高48億52百万円（前年同期比26.6%増）、営業損失11億50百万円（前年同期は9億63百万円の損失）、経常損失11億31百万円（前年同期は9億56百万円の損失）、四半期純損失11億43百万円（前年同期は9億62百万円の損失）となりました。また、当第2四半期連結会計期間の末日現在の受注残高は61億37百万円（前年同期比37.7%減）となりました。

なお、当社グループの主要事業である情報装置事業の大半は、官公庁向けの道路交通に関わる情報装置関連製品であり、例年、売上高は第4四半期、特に期末に集中する傾向がありますので、第2四半期連結累計期間の収益は、相対的に低水準となっております。

報告セグメントの概況につきましては、次のとおりです。

①情報装置事業

高速道路会社向けの期首受注残物件を中心に売上を確保しましたが、公共投資の減少の影響を受け、競争の激化により収益は厳しい状況で推移しました。この結果、売上高44億87百万円（前年同期比28.6%増）、営業損失4億3百万円（前年同期は2億50百万円の損失）となりました。なお、利益につきましては、ほぼ均等に発生する固定費に対して、売上高が期末に集中するといった季節的変動が大きいため、第2四半期連結累計期間では、赤字計上となっております。

②検査装置事業

企業の検査装置分野向けの設備投資抑制の状況が変わらないなか拡販に努力したものの、受注および売上は思うように伸びませんでした。この結果、売上高3億64百万円（前年同期比6.3%増）、営業損失2億55百万円（前年同期は2億41百万円の損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産は128億84百万円となり、前連結会計年度末と比較して25億27百万円の減少となりました。

流動資産は87億76百万円となり、前連結会計年度末と比較して23億53百万円の減少となりました。これは、主として仕掛品が4億95百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が29億55百万円減少したことによるものです。

固定資産は41億7百万円となり前連結会計年度末と比較して1億74百万円の減少となりました。これは、主として、投資有価証券が52百万円減少したことと、保険積立金が80百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は45億9百万円となり、前連結会計年度末と比較して13億23百万円の減少となりました。

流動負債は35億69百万円となり、前連結会計年度末と比較して13億44百万円の減少となりました。これは、主として短期借入金が11億円減少したことによるものです。

固定負債は9億39百万円となり、前連結会計年度末と比較して21百万円の増加となりました。これは、主として退職給付引当金が51百万円増加したものの、長期借入金が33百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は83億75百万円となり、前連結会計年度末と比較して12億4百万円の減少となりました。これは、主として利益剰余金が11億74百万円減少したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、2億65百万円減少（前年同期は6億6百万円の増加）し、14億49百万円となりました。これは、営業活動によるキャッシュ・フローが収入となったものの、投資活動によるキャッシュ・フローおよび財務活動によるキャッシュ・フローが支出となったことによるものであります。

各キャッシュ・フローの状況につきましては、次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は11億27百万円（前年同期比38.5%減）となりました。これは、主として、税金等調整前四半期純損失11億35百万円等による減少要因はあるものの、売上債権の減少額28億93百万円等の増加要因によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出した資金は2億29百万円（前年同期比8.9%減）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出69百万円、無形固定資産の取得による支出2億44百万円等の減少要因によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により支出した資金は11億64百万円（前年同期比19.2%増）となりました。これは短期借入金純減額11億円等の減少要因によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績見通しにつきましては、当初予定どおり連結売上高136億円、連結経常利益3億円、連結当期純利益2億50百万円を見込んでおります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,714,949	1,449,149
受取手形及び売掛金	7,238,607	4,282,631
製品	47,545	3,830
仕掛品	1,144,386	1,639,803
原材料及び貯蔵品	572,826	896,590
その他	412,296	505,718
貸倒引当金	△501	△854
流動資産合計	11,130,111	8,776,869
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,882,330	1,882,330
その他(純額)	905,724	861,998
有形固定資産合計	2,788,054	2,744,329
無形固定資産	452,698	441,227
投資その他の資産		
投資有価証券	863,127	811,095
その他	178,663	111,159
投資その他の資産合計	1,041,790	922,255
固定資産合計	4,282,543	4,107,812
資産合計	15,412,655	12,884,681
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,019,257	2,159,953
短期借入金	1,100,000	—
未払法人税等	39,550	10,779
賞与引当金	276,702	275,619
製品保証引当金	55,637	59,123
工事損失引当金	23,922	102,441
前受金	444,583	382,431
その他	955,143	579,561
流動負債合計	4,914,797	3,569,909
固定負債		
長期借入金	33,980	—
退職給付引当金	818,886	870,191
役員退職慰労引当金	54,375	59,660
その他	10,419	9,349
固定負債合計	917,660	939,200
負債合計	5,832,458	4,509,110

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,100,005	1,100,005
資本剰余金	1,020,375	1,020,375
利益剰余金	7,417,951	6,243,929
自己株式	△3,390	△3,390
株主資本合計	9,534,940	8,360,919
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45,256	14,652
その他の包括利益累計額合計	45,256	14,652
純資産合計	9,580,197	8,375,571
負債純資産合計	15,412,655	12,884,681

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	3,833,908	4,852,340
売上原価	3,789,623	4,987,966
売上総利益又は売上総損失(△)	44,285	△135,625
販売費及び一般管理費	1,007,335	1,014,386
営業損失(△)	△963,050	△1,150,012
営業外収益		
受取利息	1,113	171
受取配当金	10,038	12,232
廃材処分収入	2,254	5,102
その他	1,507	6,722
営業外収益合計	14,913	24,228
営業外費用		
支払利息	1,728	1,000
支払手数料	1,446	1,484
支払保証料	5,624	3,372
その他	0	146
営業外費用合計	8,800	6,003
経常損失(△)	△956,937	△1,131,787
特別利益		
固定資産売却益	23	327
投資有価証券割当益	20,700	—
貸倒引当金戻入額	3,404	—
特別利益合計	24,128	327
特別損失		
固定資産売却損	5	771
固定資産除却損	2,738	3,388
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8,978	—
特別損失合計	11,722	4,159
税金等調整前四半期純損失(△)	△944,531	△1,135,619
法人税、住民税及び事業税	11,367	6,099
法人税等調整額	7,006	2,170
法人税等合計	18,373	8,270
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△962,905	△1,143,890
四半期純損失(△)	△962,905	△1,143,890

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△962,905	△1,143,890
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△57,204	△30,603
その他の包括利益合計	△57,204	△30,603
四半期包括利益	△1,020,109	△1,174,494
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,020,109	△1,174,494

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△944,531	△1,135,619
減価償却費	170,756	192,396
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△1,083
退職給付引当金の増減額(△は減少)	55,880	51,304
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△31,970	5,285
受取利息及び受取配当金	△11,152	△12,403
支払利息	1,728	1,000
売上債権の増減額(△は増加)	3,540,223	2,893,825
たな卸資産の増減額(△は増加)	△217,414	△775,465
仕入債務の増減額(△は減少)	△687,962	△48,898
その他	21,639	△36,203
小計	1,897,200	1,134,136
利息及び配当金の受取額	11,152	12,403
利息の支払額	△1,636	△1,463
法人税等の支払額	△71,973	△38,847
法人税等の還付額	—	21,508
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,834,742	1,127,738
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△98,708	△69,742
無形固定資産の取得による支出	△153,186	△244,653
保険積立金の払戻による収入	—	85,098
その他	105	39
投資活動によるキャッシュ・フロー	△251,789	△229,257
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△900,000	△1,100,000
長期借入金の返済による支出	△33,960	△33,960
自己株式の取得による支出	△396	—
配当金の支払額	△41,985	△30,319
財務活動によるキャッシュ・フロー	△976,342	△1,164,279
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	606,610	△265,799
現金及び現金同等物の期首残高	2,051,684	1,714,949
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,658,294	1,449,149

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

I. 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報装置事業	検査装置事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,490,863	343,044	3,833,908	—	3,833,908
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,490,863	343,044	3,833,908	—	3,833,908
セグメント損失(△)	△250,558	△241,403	△491,962	△471,088	△963,050

(注) 1 セグメント損失(△)の調整額△471,088千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△471,088千円であり、主に報告セグメントに帰属しない管理部門および研究開発部門に係る費用であります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II. 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報装置事業	検査装置事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,487,671	364,669	4,852,340	—	4,852,340
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,487,671	364,669	4,852,340	—	4,852,340
セグメント損失(△)	△403,678	△255,341	△659,019	△490,992	△1,150,012

(注) 1 セグメント損失(△)の調整額△490,992千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△490,992千円であり、主に報告セグメントに帰属しない管理部門および研究開発部門に係る費用であります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。